

事業所名

放課後等デイサービス あいランド すまいる

支援プログラム

作成日

2026 年

1 月

9 日

法人（事業所）理念		すべての人がラッキーに！　すべての人を笑顔に！！					
支援方針		○運動療育や集団遊びを通して、個々の成長へと繋げるとともに、集団でのルールやマナーを守ることができるようにする。 ○ビジョントレーニングを通して、視機能と脳の処理能力の向上を図り、集中力と運動能力を育むことで様々なことに自信を持ち、取り組むことができるようにする。					
営業時間		10 9 時	00 00 分から	19 18 時	00 00 分まで	送迎実施の有無	あり　なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・送迎時から到着したあとの流れを伝えておくことで、見通しを持って安心して過ごせるようにする。 ・1日のスケジュールを掲示することで、視覚的に自分で確認できる環境を整える。併せて、日直システムを設け、5分前にタイマーをセットするなど、5分前行動の意識づけを行う。 ・男女学年分け隔てなく関わり、コミュニケーションを図れるようにする。また、集団活動ではリーダーを任せるなど、積極的に自分の意見を発信できる機会を設けていく。					
	運動・感覚	・遊びやプログラム活動の中で、積極的に身体を動かす時間を設けていく。又、スモールステップで課題を設定し、達成感やできた喜びを感じることができるようにする。 ・活動や遊びを通して、友だちと一緒に身体を動かす楽しさを感じたり、楽しい雰囲気の中で様々なことに挑戦したりできるよう仕組んでいく。 ・プログラム活動の中で、ボール運動や感覚トレーニングを仕組み、運動神経や反射神経等の向上に繋がるよう、繰り返し練習し、身に付けることができるようにする。					
	認知・行動	・説明の際には、端的で分かりやすい言葉で伝えていく。また、どの場面でも質問する時間を設け、自発的に聞きやすい環境作りを行っていく。 ・プログラム活動や遊びを通して、自ら役割を考え、行動できるようにする。困っている時には、一緒に考えながら行動できるようサポートしていく。 ・プログラムの説明等、正しく情報を受け取り行動に移せるようにする。また、分からないことがある時はそのままにせず自分で質問し解決してから物事を進めていけるようにする。					
	言語 コミュニケーション	・自分の思ったことや感じたことを適切に表現できるよう、まずは小集団の中で安心して伝えられる環境作りを行っていく。帰りの会等で伝える練習を繰り返し行っていく。 ・気持ちや考えを整理して、言葉にして伝えることができるようサポートしていく。伝え方や言葉選びが難しい時には、どのように伝えるのか一緒に考えていく。 ・遊びや活動を通して自分の意見のみではなく、相手の意見や考えを受け、話し合いを行うなど、コミュニケーションを取る機会を多く設けていく。					
	人間関係 社会性	・基本のスケジュールはルーティン化しつつ、小さな予定変更を組み込んでいくことで、イレギュラー時に柔軟に対応できる力が身につくようにする。 ・プログラム活動において、様々な学年の友だちとコミュニケーションが図れるようにする。また、徐々にチームリーダーを任せることで、まとめる役割を担い、自信に繋げていく。 ・ルールや説明がなぜ設けてあるのかを知り、実際に守ることで全員が安心・安全に活動に取り組めることを伝える。それらを日常生活へと繋げていけるようにする。					
家族支援		・送迎時や連絡帳・電話やメールにて、本人の様子や目標・興味があることなど情報の共有を行うことで、より質の高い支援に繋げていく。 ・延長支援			移行支援	・学校や関係機関との連携 ・ライフステージの切り替えを見据え、将来的な移行に向けた準備 ・日常生活のスキルの向上、遊びや活動を通して、集団生活に必要なルールやマナーが身に付くよう取り組んでいる。	
地域支援・地域連携		・学校、保護者、関係機関との連携はもちろんのこと、公民館との連携強化に努め、イベントや行事への参加を定期的に行っている。			職員の質の向上	・週に1回の事業所MTGをはじめ、個別支援会議はもちろんのこと、外部講師による定期的な研修を行い、質の向上に取り組んでいる。	
主な行事等		・夏祭り・バザー・ハロウィン・クリスマス会・正月遊び・クッキング・保護者参観・ドッジボール大会・買い物体験 ・お出かけイベント(科学館・工場見学・博物館等)・避難訓練・公民館イベント(電気エネルギー博士になろう・選挙体験等)への参加					